

ちーバル 「街の物語」PV 制作 概要

主旨

ちーバルイベントが今年大きく変わる事を伝える事であり、もう一つは、街バル「街の物語」イベントを通して、千葉の街を再発見し、大好きで誇れる街にみんなで盛り上げて行きませんか、と言う街にフォーカスしたメッセージを伝える内容にしたい。

目的

街の活性化を真剣に取り組むため、その場の楽しさだけの、ただ”消費”するだけのイベントではなく、楽しさの中にも、私たちが目指す”想い”や”理念”に対し、何がしらの”気づき”や”発見”を促し、街の活性化の為に、新たなムーブメントへの道筋を模索したいと言う我々の想いが伝わる PV にしたい。

「街の物語」とは

メインテーマ

ー6つのエリアのテーマ化による街のブランド価値の創出による街の活性化ー

・今あるこの街(千葉市中心市街地)の佇まいの中に、先人の想いと物語を感じ取り、これから先の魅力的な街の物語とあり様を創造し、提案する新しいちーバルスタイルのプロジェクトとなります。

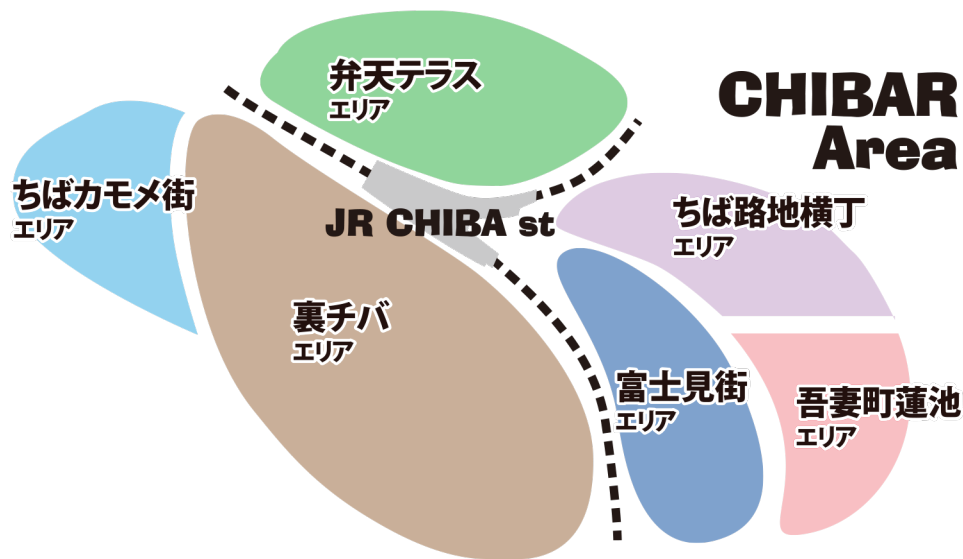
主な内容

- (1) 街の魅力を発信し、愛着を感じてもらいたい
- (2) この街(千葉市中心市街地)はその変遷の歴史と、そこに関わった人々の熱い想いの”街の物語”がそこにはきっとあるはずなので、そこを表現できるようにしたい。
- (3) その想い(文化)が街バルのメッセージとして伝わった時、そして街の未来のあり様が想像出来た時、この街に魅力と愛着を感じ、人が集まり、街に賑わいが生まれる形にしたい。
- (4) 行政とは違い、街自体のブランド化による個人店が主役の街づくりによる活性化を目指すしています。

(5) **古い街は古い街の魅力を、新しい街は新しい街の魅力を活かし**、バルイベントが他のイベントには無い街を直に知って貰える回遊性を生かしながら
ちーバルのエリアをブランド化し、街(千葉市中心街地)の文化的ブランド価値を高めることを目的としています。

主な取り組み(今後)

・エリア毎のテーマ化
下記図のように千葉市中心市街地を6つのエリアに分け、それぞれエリア名を決めて、その名前に沿った『**街のイメージ化、ブランド化**』を進めていく予定です。



各エリア毎のテーマ

「吾妻街蓮池エリア」

- ・テーマ名「黒塀老舗散策バル」
- ・キャッチコピー「奥深い旨みのある街」
- ・街のイメージ(物語)

御成街道、都川など陸路、水路の交通が盛んだった時代、この地域は吾妻町や通町と言う地名で、**千葉市の中心市街地**として、又第二次世界大戦前はこの一画に蓮池と呼ばれる地域があり、**料亭や芸妓置屋が点在する花街で**でした。

風情ある街にタイムスリップして巡るバルは、今も現存する老舗店主と店先で昔話に花を咲かせれば、古き良き老舗文化の中に街の本来あるべき姿を再発見できるかもしれません。

「ちば路地横丁エリア」

- ・テーマ名「路地裏無国籍ダイバシティバル」
- ・キャッチコピー「昭和レトロを感じる街」
- ・街のイメージ(物語)

明治 27 年千葉市の鉄道の玄関口としての旧国鉄千葉駅開業と共に新たな商店街が形成され、戦後の歩道には露店が軒を連ね活況を呈したこの街も、戦災復興計画の下、駅の移転と共に時代の激変に翻弄された。

このモノクロームでノスタルジックな、昭和レトロな街を巡るバルは、こんな路地裏にこそ、人を惹きつける温もりあるアンダーグラウンドな新たなカルチャー拠点に生まれ変わる可能性をも期待させるでしょう。

「富士見街エリア」

- ・テーマ名「先取りショットバル」
- ・キャッチコピー「五感で感じるスパイシーな街」
- ・街のイメージ(物語)

千葉駅移転後、旧中心市街地であった吾妻町蓮池エリアとの間のエリアに生まれた現在最も活力に満ちた一大商業歓楽街であるこの地域は、“ちーバル”の前身である“富士見祭り”発祥の地であります。

常に新しい飲食業態が生まれる千葉の飲食発信エリアでもあり、チャレンジと変化と発見があるこの刺激的な街を先取り気分で巡るバルは、新たな若者文化の創出の可能性をも感じ取れるでしょう、

「裏ちばエリア」

- ・テーマ名「立ち飲み大人美食バル」
- ・キャッチコピー「熟成された大人フレイバーな街」
- ・街のイメージ(物語)

千葉海岸の埋め立て工事が始まる前のこの地域は、磯の香りが漂う漁村の面影を残した古い住宅地でした。

このエリアはゆっくりと、時代が熟成するかの様に、こだわりの飲食店が集積し、その周辺にはセンスある個人物販店やライブハウスも点在する大人の街に変貌を遂げました。そんなちょっと気になる店を探して探索するバルは、新たな出会いと流れゆく時間の先には、心躍る素敵な未来の姿を感じ取れるでしょう。

「弁天テラスエリア」

テラス…ラテン語で高台とか盛り土

ベランダ、バルコニー

- テーマ名「隠れ家食堂バル」
- キャッチコピー「心地よいあと味を感じるら街」
- 街のイメージ(物語)

千葉公園や椿森のオープンテラス(小高い高台)な魅力的地形の中に、戦前からの閑静なアーバンエリア(旧住宅市街地)で、落ち着いた魅力ある飲食店が点在し、今後、こだわりの注目スポットに変貌する可能性を秘めています。

閑静な住宅街と緑の中に隠れ家的でオシャレな物販店や飲食店が点在するであろうこの街の未来に想いを馳せ巡るバルは、きっと新たな発見と穏やかな充実感に満たされるでしょう。

「カモメ街エリア」

- テーマ名「カモメが飛ぶエンタメバル」
- キャッチコピー「シャキッと歯応えのある街」
- 街のイメージ(物語)

戦後の埋め立て事業により整備されたこの地域は、貿易港、市役所、地銀本店などの公官庁が隣接し、ホテルやマンション等が立ち並ぶ千葉市のニューフロンティア地区です。又、千葉ポートタワー、旅客船ターミナル複合施設などの観光スポットもあり、各種イベントが開催される文化スポーツ発信基地でもあります。

未来への可能性を信じて挑戦者の象徴でもある”カモメ”との出会いは、この街に生きている意味と、この先、生きるべき理由に気付かされるかも知れません。

PVに求める内容

- 「主旨」と「目的」の内容に沿ったもので、言葉はあまり入れずに視覚や聴覚など感性に訴え、興味や好奇心を促す事を目的としたプロモーション手法として欲しいです。

- 参考 PV URL

<https://youtu.be/8f4H-QaML6w>